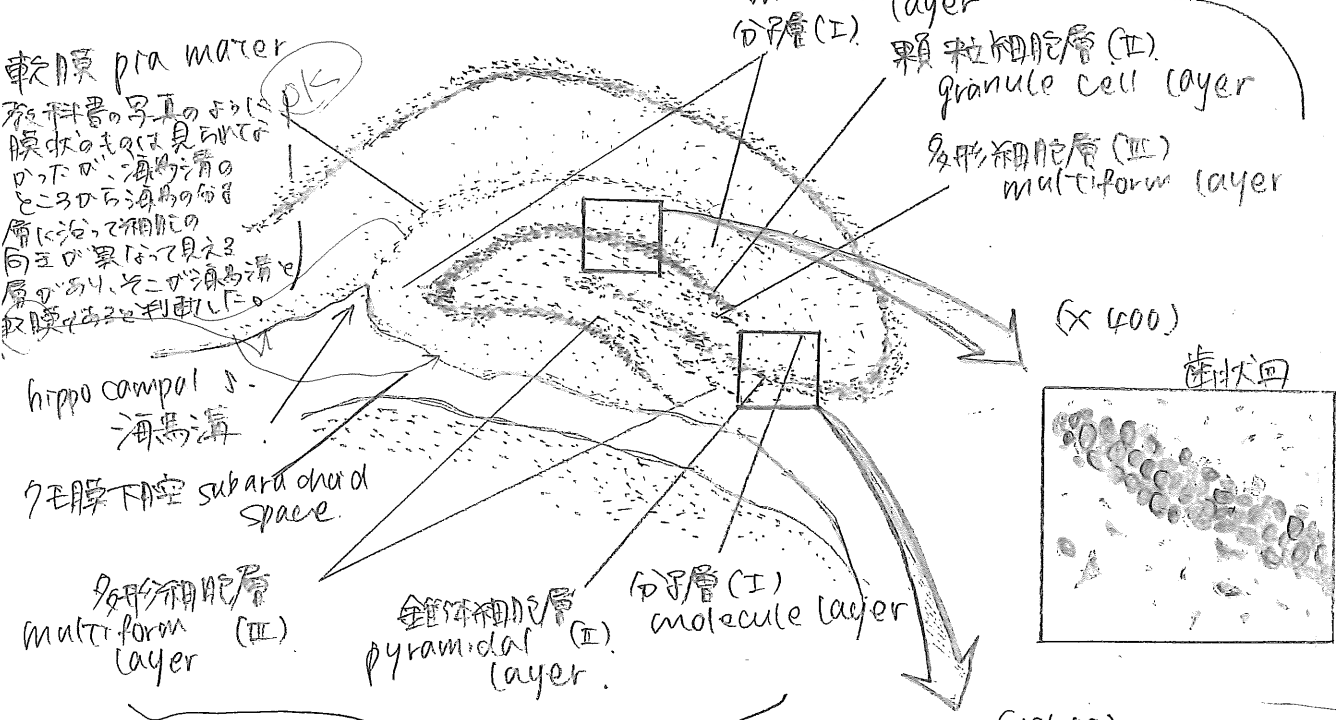
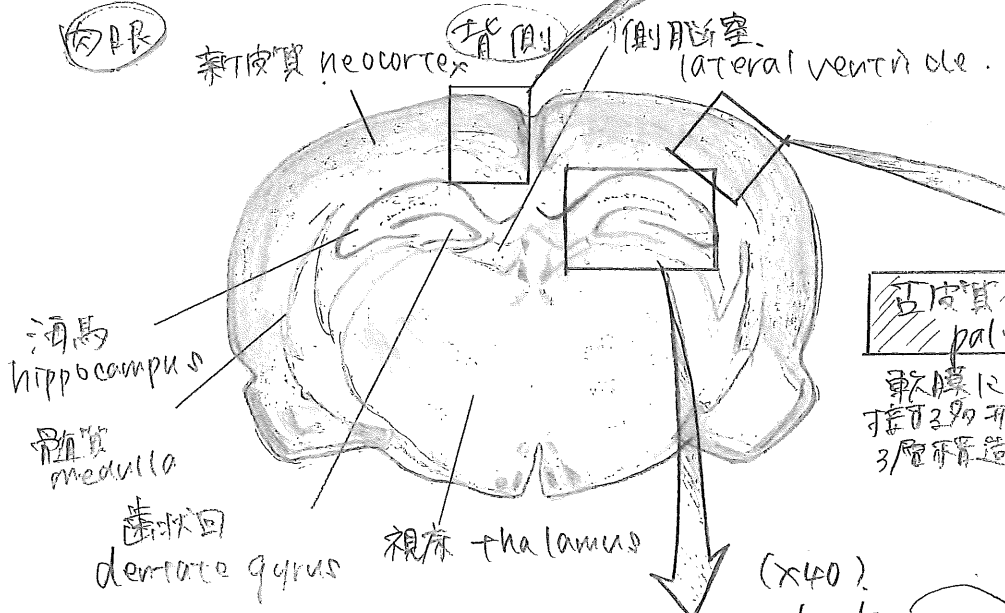


★大脳皮質の層構造

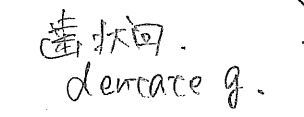
(N-60-10-番右の切)



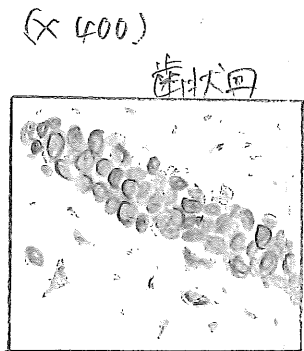
海馬 hippocampus  
... 層の古皮質である嗅球の次に発生した古い皮質である。

古皮質 paleocortex

軟膜に接する分子層と顆粒細胞層の間に接する多形細胞層の間に一層入って3層層構造をしている。



軟膜 pia mater  
分子層 (I) molecule layer  
顆粒細胞層 (II) granule cell layer  
多形細胞層 (III) multi-form layer

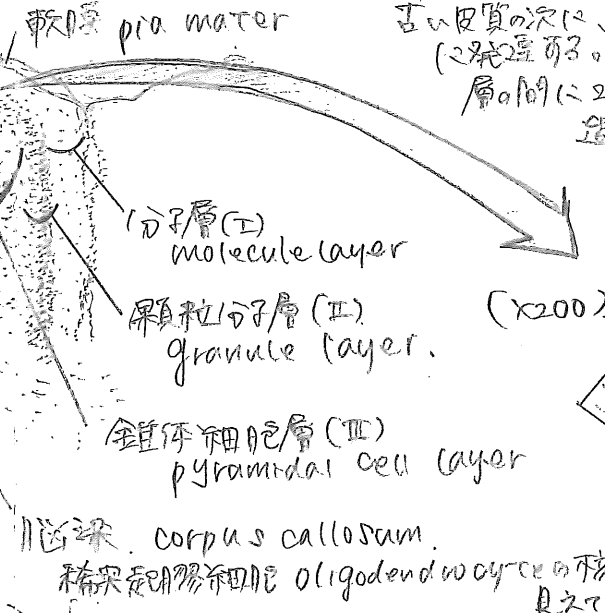


海馬 hippocampus (x400)

分子層 (I) molecule layer  
... 歯状回のもと同じく、小型の細胞が疎に存在していた。  
錐体細胞層 (IV) pyramidal layer  
... 先の述べた錐体の細胞があった。歯状回の顆粒細胞層より細胞はつまっている。  
多形細胞層 (III) multi-form layer  
... 歯状回のもと同じく、大型の細胞と錐体細胞層の細胞との区別がつかない。

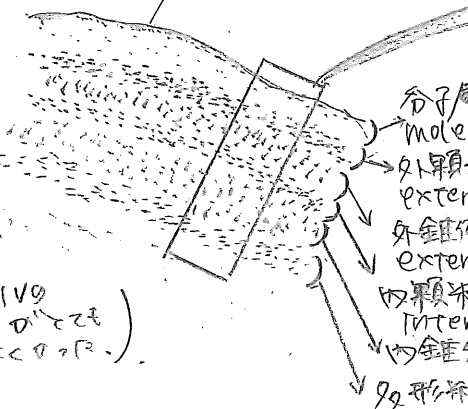
中間皮質 mesocortex

古い皮質の次に、それをおおっており (2層層ある。分子層と多形細胞層の間に2層入って4層層構造になっている。)



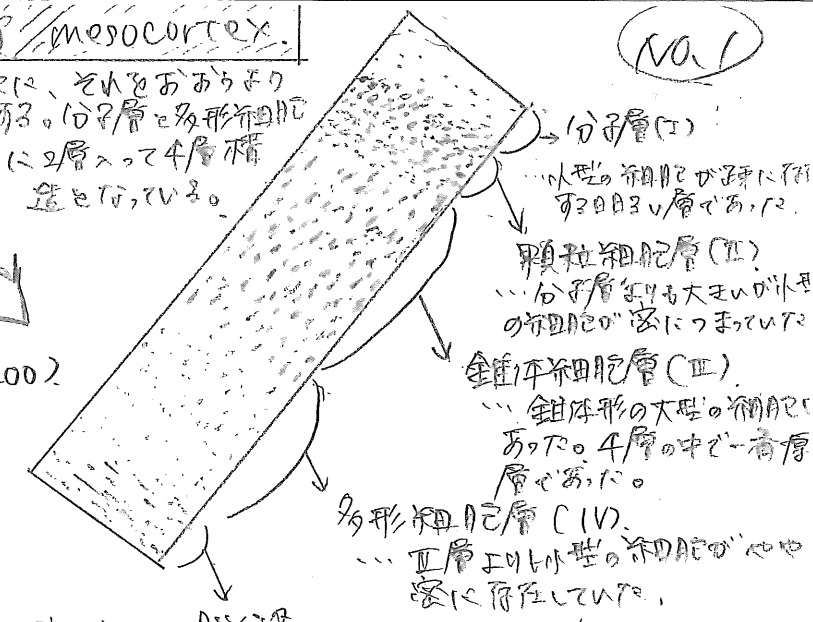
新皮質 neocortex

軟膜 pia mater



(x IIIとIVの区別がつかない。)

分子層 (I) molecule layer  
... 小くて積層形の細胞がまばらに存在していた。明瞭に見える層であった。  
顆粒細胞層 (II) granule cell layer  
... 積層形の中cの細胞がまばらに存在していた。  
多形細胞層 (III) multi-form layer  
... 小くて積層形のものや錐体のもの、小くて積層形のものなどが存在していた。分子層の細胞が多量に見られた。



小Iの核  
I層 小Iの核が疎に存在していた。  
II層 小型の細胞が疎に存在していた。  
III層 大型の錐体の細胞の層であった。  
IV層 大型の錐体の細胞の層であった。  
V層 大型の錐体の細胞の層であった。  
VI層 大型の錐体の細胞の層であった。  
VII層 大型の錐体の細胞の層であった。  
VIII層 大型の錐体の細胞の層であった。

この大脳皮質の新皮質の部分には9つの溝があるが、ラットの脳皮質にはほとんど溝がない。  
古皮質と中間皮質を合わせて大脳皮質層といふ。  
I層は連合の神経線維、II層は連合の神経線維、III層は連合の神経線維、IV層は連合の神経線維、V層、VI層は連合の神経線維をまとめている。